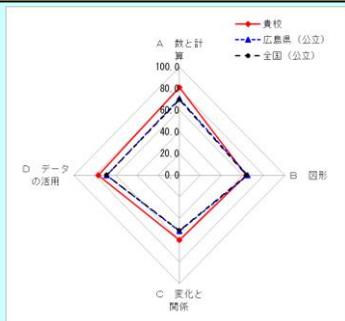


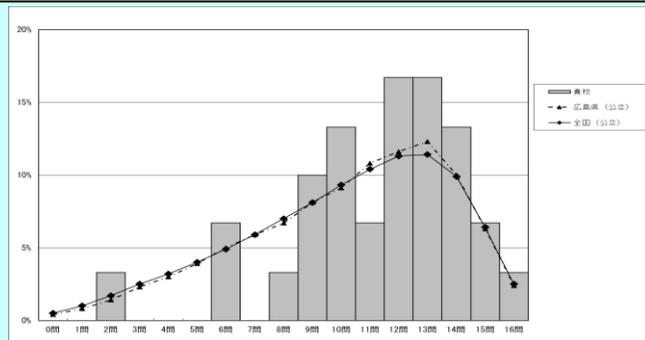
学力向上に向けた指導方法等の改善計画について〔算数科〕

江田島市立 江田島小学校

令和4年度全国学力・学習状況調査 本年度通過率 (本校 70%, 県 64%)



領域別平均正答率



正答数分布グラフ (横軸: 正答数 縦軸: 割合)

本年度の結果について

○算数科の結果において、平均正答率は70% (県平均より+6ポイント) の通過率となっている。領域別にみると、数と計算81.1% (+10.3ポイント)、図形63.3% (-1.5ポイント)、変化と関係60% (+8.2ポイント)、データの活用76.7% (+7.8ポイント) である。基礎的な学習内容全般の定着ができていますが、「図形」領域が課題である。

重点課題

【課題1】

○「日常の具体的な場面に対応させて、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。」【通過率20%】

- ・割合の意味を正確に捉えられていない。
- ・問題場面を日常の具体的な生活場面と結び付けて考えることができていない。

【課題2】

○「正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。」【通過率36.7%】

- ・問題文の内容を具体的にイメージすることができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・問題の中でキーワードとなる部分に線を引かせる。
- ・問題場面を動作化したり、絵や図にしたりして、具体的なイメージをもたせる。
- ・問題作り等を通して、学習したことを日常生活のどんな場面で活用できるか考えさせる。

【課題2】

- ・問題場面を動作化したり、絵や図にしたりして、具体的なイメージをもたせる。
- ・思考の足跡をノート等に残し、書きながら思考を整理するようにする。
- ・コンピュータを用いて図形を作図させたり、作図した図形のプログラムを考察させたりする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	通過率40%以下の問題をさせる。(6年)	R3標準学力調査類似問題をさせる。(1~6年)	R2標準学力調査類似問題をさせる。(1~6年)	江田島市小中学校学力調査(1~6年)		R4全国学力・学習状況調査問題をさせる。(5年)	学年末テスト(1~6年)
目標値	60%	60%	60%	70%		65%	70%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	通過率40%以下の問題をさせる。(6年)	R3標準学力調査類似問題をさせる。(1~6年)	R2標準学力調査類似問題をさせる。(1~6年)	江田島市小中学校学力調査(1~6年)		R4全国学力・学習状況調査問題をさせる。(5年)	学年末テスト(1~6年)
目標値	60%	60%	60%	70%		65%	70%
実施後数値							